

# 高知県感染症発生動向調査(週報)

2011年第23週[6月6日～6月12日]

高知県衛生研究所 高知県感染症情報センター  
TEL:088-821-4961 FAX:088-825-2869  
http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/  
E-mail: kansen@ken4.pref.kochi.jp

## 県内情報

### ○ 患者情報総評

#### 注意報発令疾患：A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

- ・ 今週は梅雨らしく、曇りや雨の日が多かった。
- ・ **感染性胃腸炎**は中央東と幡多で減少したが、その他の地域で増加し、総数は引き続き増加した。
- ・ **A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**（高幡：注意報→注意報，高知市：警報→注意報，幡多：注意報，中央西：注意報）は増加を続けていたが、高知市と中央東で大幅に減少し、総数は減少に転じた。
- ・ **水痘**（高知市：注意報）は高知市で注意報値を超し、総数はやや増加した。しかし、総数は例年同時期と比較して、低めの報告数で推移している。
- ・ **手足口病**（高知市：注意報→注意報）は総数はやや減少したが、高知市では前週に引き続き注意報値を超している。過去5年間の同時期では昨年に次ぐ報告数となっている。
- ・ **マイコプラズマ肺炎**（高知市：注意報→注意報）は高知市で前週に引き続き注意報値を超している。

上位疾患構成図



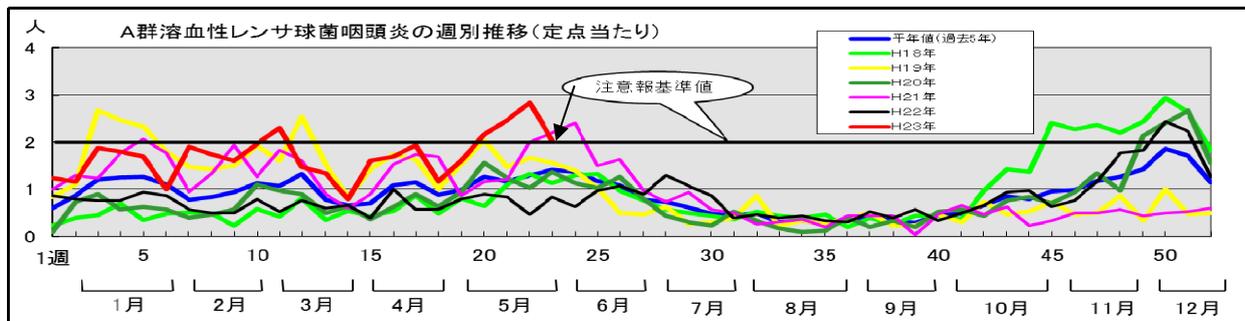
## 地域別感染症注意報・警報発生状況

第23報 (2011年6月6日～2011年6月12日)



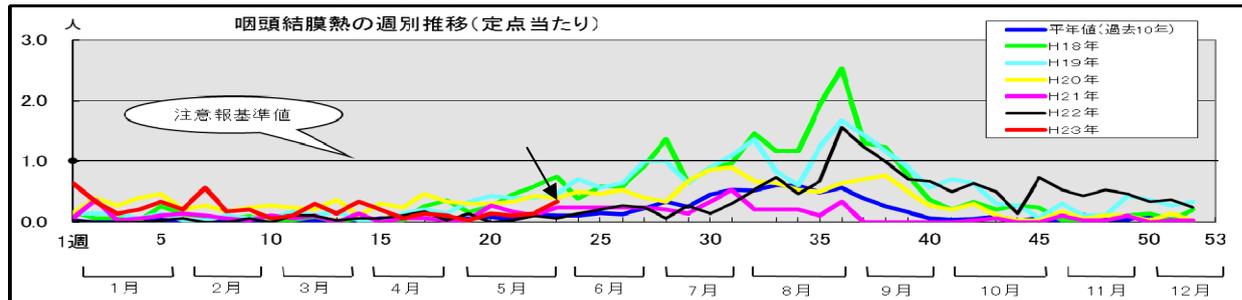
### A群溶血性レンサ球菌咽頭炎：今週 2.03 (注意報値：2.00 警報値：4.00)

高知市，中央東，安芸で減少し，高知市では警報値を，中央東では注意報値を下回った。総数は前週の約7割に減少した。しかし，安芸と中央東を除く地域では注意報値を超している。



**咽頭結膜熱：今週 0.33 （注意報値：1.00 警報値：3.00）**

中央西で大幅に増加し、注意報値を超した。総数としてはまだ少ないが、例年6月頃から報告数の増加がみられ、8~9月に流行のピークとなるため今後の推移が注目される。



**検査情報**

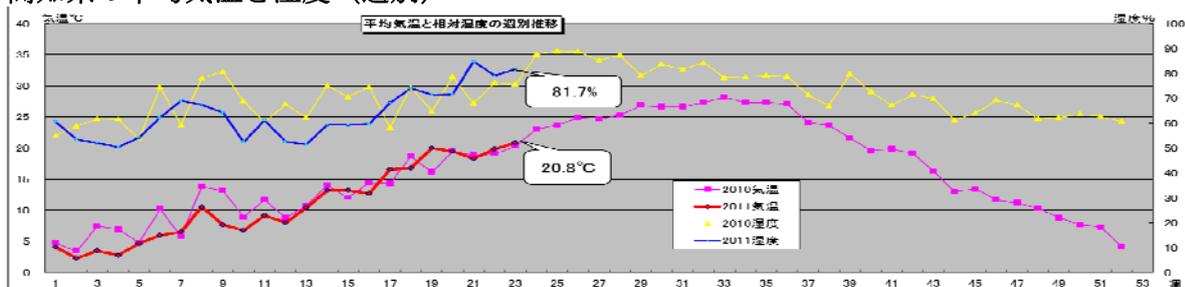
週	臨床診断名	患者	地域	ウイルス、細菌の検出状況
49	感染性胃腸炎	5カ月 不明	高知市	Saffold virus NT
49	咽頭結膜熱	8カ月 女	高幡	Saffold virus NT
50	感染性胃腸炎	11カ月 男	高幡	Saffold virus NT
51	感染性胃腸炎	2歳 男	中央東	Saffold virus NT
4	発熱	53歳 男	高知市	Adenovirus NT
4	インフルエンザ	8歳 女	高幡	Saffold virus NT
5	インフルエンザ	8歳 男	高知市	Saffold virus NT
13	咽頭結膜熱	2歳 女	高知市	Saffoldvirus-NT
13	咽頭結膜熱	2歳 女	高知市	Saffold virus NT
21	ウイルス性発疹症	0カ月 女	高知市	Parechovirus NT
21	ウイルス性発疹症	0カ月 女	高知市	Parechovirus NT
22	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6歳 男	高幡	<i>Streptococcus pyogenes</i> T12
23	マイコプラズマ肺炎	7歳 男	高幡	<i>Mycoplasma pneumoniae</i>

○ 全数報告の感染症情報

2類感染症：結核 2例（80代男：2例）《高知市》（80代男）《須崎》（90代女）《安芸》（今年64例）

4類感染症：レジオネラ症 1例（70代男）《高知市》（今年5例）

○ 高知県の平均気温と湿度（週別）



○ 定点からの地域ホット情報

幡多：

《さたけ小児科》：膿痂疹 1例（4歳男）      マイコプラズマ感染症 1例（6歳男）

《松谷内科》：A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 1例（37歳女）

## 高幡：

《もりはた小児科》：アデノウイルス扁桃炎 3例（1歳男，4歳女：2例）  
感染性胃腸炎の3例（1歳男：2例，10歳女）はカンピロバクター腸炎  
《須崎くろしお病院内科》：インフルエンザの1例はB型陽性

## 中央西：

《石黒小児科》：インフルエンザの1例はA型陽性，予防接種歴なし 帯状疱疹 1例（12歳男）  
《くぼたこどもクリニック》：感染性胃腸炎の1例（6歳男）は須崎市，1例（2歳男）は四万十町  
インフルエンザの1例はB型陽性 ヘルパンギーナの1例（1歳女）は須崎市  
《日高クリニック》：マイコプラズマ肺炎 2例（8歳男：須崎市，3歳女）  
《高北病院内科》：インフルエンザの2例はB型陽性

## 高知市：

《細木病院小児科》：インフルエンザの1例はB型陽性  
《福井小児科・内科》：伝染性紅斑が4例であった  
《けら小児科・アレルギー科》：アデノウイルス陽性 5例（0～1歳男女）  
帯状疱疹 2例（6歳女，68歳女）  
カンピロバクター腸炎 4例（5，6，11歳男，8歳女）  
《高知医療センター》：インフルエンザの1例はB型陽性，予防接種歴なし  
《近森病院内科》：インフルエンザの1例は臨床診断

## 中央東：

《吉本小児科皮膚科》：カンピロバクター腸炎 1例（8歳女）

## 全国情報第21週（5/23～5/29）（<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>）

2類感染症：結核429例

3類感染症：コレラ1例、細菌性赤痢1例、腸管出血性大腸菌感染症49例（有症者40例、うちHUS 2例）

4類感染症：つつが虫病12例、デング熱1例、日本紅斑熱5例、マラリア1例、レジオネラ症7例

5類感染症：アメーバ赤痢4例、ウイルス性肝炎2例（B型1例、サイトメガロウイルス1例）、急性脳炎1例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症4例、後天性免疫不全症候群10例〔AIDS 1例（死亡）、無症候9例〕、髄膜炎菌性髄膜炎1例、梅毒8例、破傷風2例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、風しん13例、麻しん18例

報告遅れ：細菌性赤痢1例、エキノコックス症1例、デング熱1例、マラリア1例、急性脳炎2例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症3例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例、風しん11例

## ◆咽頭結膜熱

咽頭結膜熱は主にアデノウイルス3型（他に1、2、5、4、6、7型等でもみられる）に感染することによってみられる咽頭炎、結膜炎を主とする急性ウイルス性感染症である。発熱、咽頭炎（咽頭発赤、咽頭痛）、結膜炎（結膜充血、眼痛、流涙、眼脂）が3主症状であり、通常感染曝露からの潜伏期間が5～7日、有症状期間は3～5日といわれている。特異的な治療方法はなく、対症療法が中心となる。眼の症状が強い時には、眼科的治療が必要となることもある。感染経路は主に飛沫感染、接触感染であるが、その感染力は強力であり、タオル、ドアの把手、エレベーターのボタン、階段の手すり等の患者が触れたものを触ることによっても感染する場合がある。また、本疾患は症状消失後も約1カ月間に渡って尿・便中にウイルスが排出されるといわれており、更に感染後発病はしない無症候病原体保有者も存在するため、効果的な感染予防対策の実行は困難である。特に感染経験の乏しい小児の集団生活施設である保育園、幼稚園、小学校等では流行時期になると集団発生がみられることも珍しくはない。

感染症発生動向調査では、全国約3,000カ所の小児科定点からの報告に基づいて咽頭結膜熱をはじめとする各種小児科疾患の発生動向を分析している。咽頭結膜熱の定点当たり報告数は、第15週以降増加傾向となり、第18週のゴールデンウィーク期間中は一旦減少がみられたものの、その後は3週連続して増加し、第21週の定点当たり報告数は0.53（報告数1,651）となった。都道府県別では佐賀県（1.57）、富山県（1.45）、福井県（1.32）、滋賀県（1.28）、宮崎県（1.17）、石川県（0.97）の順となっている。32都道府県で前週よりも報告数が増加しており、特に佐賀県、富山県、石川県、青森県、香川県で大きな増加が見られた。第1～21週までの定点当たり累積報告数は8.02（累積報告数25,094）であり、年齢群別割合をみると2～3歳31.5%、0～1歳28.4%、4～5歳24.2%の順となっており、5歳以下で全体の80%前後を、3歳以下で60%前後を占めているのは2009年以降続いている傾向と合致している。

2011年第1週からこれまでに咽頭結膜熱と診断された患者から検出されたアデノウイルス（総検出報告数65）では、アデノウイルス3型69.2%（検出報告数45）、2型20.0%（検出報告数13）、1型4.6%（検出報告数3）の順となっている。まだ検出報告数は少ないものの、これまでのところ例年にも増して3型の報告割合が高くなっている。

咽頭結膜熱の流行のピークは例年夏季休暇の始まる第29週前後であり、今後はそのピークに向けて更に患者発生数が増加してくるものと予想される。咽頭結膜熱の発生動向には今後とも注意深い観察が必要である。

定点名	疾病名	医療圏	安芸医療圏	中央医療圏			高幡医療圏	幡多医療圏	計	前週	全国(22週)	高知県(23週末累計) H23/1/3~H23/6/12
				中央東	高知市	中央西						
内科・小児科	インフルエンザ				5	3	1		9 ( 0.19)	18 ( 0.38)	4,038 ( 0.82)	12,314 ( 256.54)
小児科	咽頭結膜熱				3	5	1	1	10 ( 0.33)	4 ( 0.13)	1,822 ( 0.58)	148 ( 4.93)
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	6	30	6	7	7	11	61 ( 2.03)	85 ( 2.83)	7,863 ( 2.51)	1,181 ( 39.37)
	感染性胃腸炎	19	23	71	25	6	6	8	152 ( 5.07)	137 ( 4.57)	18,821 ( 6.00)	5,700 ( 190.00)
	水痘	1	7	21	2	3	3	7	41 ( 1.37)	39 ( 1.30)	5,154 ( 1.64)	1,149 ( 38.30)
	手足口病	3	3	23	2	2	2	1	34 ( 1.13)	37 ( 1.23)	3,435 ( 1.10)	303 ( 10.10)
	伝染性紅斑			1	10				11 ( 0.37)	7 ( 0.23)	2,818 ( 0.90)	179 ( 5.97)
	突発性発疹			6	6		1	1	14 ( 0.47)	24 ( 0.80)	1,933 ( 0.62)	321 ( 10.70)
	百日咳									1 ( 0.03)	106 ( 0.03)	10 ( 0.33)
	ヘルパンギーナ	1	8	12	3			1	25 ( 0.83)	24 ( 0.80)	1,121 ( 0.36)	136 ( 4.53)
	流行性耳下腺炎			2	3			8	13 ( 0.43)	6 ( 0.20)	3,248 ( 1.04)	168 ( 5.60)
	RSウイルス感染症										299 ( 0.10)	557 ( 18.57)
	眼科	急性出血性結膜炎										45 ( 0.07)
流行性角結膜炎					1				1 ( 0.33)		390 ( 0.58)	22 ( 7.33)
基幹	細菌性髄膜炎										14 ( 0.03)	2 ( 0.29)
	無菌性髄膜炎							1	1 ( 0.14)		12 ( 0.03)	10 ( 1.43)
	マイコプラズマ肺炎				3				3 ( 0.43)	4 ( 0.57)	209 ( 0.45)	44 ( 6.29)
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)				1				1 ( 0.14)		13 ( 0.03)	3 ( 0.43)
計 (小児科定点当たり人数)	25 ( 12.50)	56 ( 8.00)	189 ( 16.59)	46 ( 14.93)	21 ( 10.25)	39 ( 7.60)			376 ( 12.22)			
前週 (小児科定点当たり人数)	17 ( 8.25)	70 ( 9.79)	195 ( 17.16)	46 ( 14.93)	15 ( 6.75)	43 ( 8.60)				386 ( 12.51)	51,341	22,247 ( 584.94)

定点当たり

第23週

定点名	疾病名	医療圏	安芸医療圏	中央医療圏			高幡医療圏	幡多医療圏	計	前週	全国(22週)
				中央東	高知市	中央西					
内科・小児科	インフルエンザ				0.31	0.60	0.25		0.19	0.38	0.82
小児科	咽頭結膜熱				0.27	1.67	0.50	0.20	0.33	0.13	0.58
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	0.86	2.73	2.00	3.50	2.20		2.03	2.83	2.51
	感染性胃腸炎	9.50	3.29	6.45	8.33	3.00	1.60		5.07	4.57	6.00
	水痘	0.50	1.00	1.91	0.67	1.50	1.40		1.37	1.30	1.64
	手足口病	1.50	0.43	2.09	0.67	1.00	0.20		1.13	1.23	1.10
	伝染性紅斑			0.14	0.91				0.37	0.23	0.90
	突発性発疹			0.86	0.55		0.50	0.20	0.47	0.80	0.62
	百日咳									0.03	0.03
	ヘルパンギーナ	0.50	1.14	1.09	1.00		0.20		0.83	0.80	0.36
	流行性耳下腺炎			0.29	0.27		1.60		0.43	0.20	1.04
	RSウイルス感染症										0.10
	眼科	急性出血性結膜炎									
流行性角結膜炎					1.00				0.33		0.58
基幹	細菌性髄膜炎										0.03
	無菌性髄膜炎						1.00		0.14		0.03
	マイコプラズマ肺炎				0.60				0.43	0.57	
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)				0.20				0.14		0.03
計 (小児科定点当たり人数)	12.50	8.00	16.59	14.93	10.25	7.60		12.22			
前週 (小児科定点当たり人数)	8.25	9.79	17.16	14.93	6.75	8.60			12.51		

## 2011年週報推移(定点当たり)

